

私が戦争についての授業で思ったことは、戦争は絶対にしてはいけないと思います。だと思っただけです。戦争は人の命をうしなうだけだと思っただけです。戦争はなににも出ないと思っただけです。戦争をうまなうために私にも出ないと思っただけです。戦争の悲惨さや命の尊厳を色んな人に知ってほしいです。後は、インターネットに戦争のあることないことをかきこまないことなどや、まずは近くにいる人と仲良しするということも私は大切だ。この授業で思いました。後、戦争は、武器を使います。私は、武器をこの世界から消した方がいいと思います。武器は、簡単に人の命をうばってしまっただけです。

戦争といふのは、昔に多くて今はないのか
をと思つたのですが、今も戦争は続いているし
かたまたまで戦争はなほでするんだ。戦争をし
ても人の命がたんだんなくなつていくのはな
い戦争をするのだ。人間は反対してゐるとい
ふのに、なぜ戦争をするかばくには、竟然か
らからさういふ。

戦争だ、黒煙が上がっている。
 などのことがテレビを付けるたび、
 びウクライナの人がいっている。ロシアを止
 めるためには、ウクライナを少しでも支援す
 るにはどのようなことをしたらいいか考えま
 した。
 ロシアを止めるとは、このようなことをし
 たらいいと思います。ロシア政府やプーチ
 ンは国民にデマを配信している。だから、
 SNSやインターネットに本当の情報をとう
 こうしプーチンの信らをもなくしてい
 らいと思います。また、ウクライナを支援
 するには、ボランティアでウクライナに行
 たり軍事支援、生活必需品などの寄付をし
 いたりしたらいいと思います。
 ウクライナを助けるには、国の支援などや
 一人一人のちよとした行動が積み重なって大
 きなものになるので、自分にできることをし
 うクライナの人も助けたいと思
 した。

私は、しんぶんをあまり読んだことな
たので、この話を聞いて、しんぶんの作り
うがたいせつさを学びました。
しんぶんには信ら度が高し、人などより
詳しく書かれています。とても分かりやすいで
す。写真もはり付けて、今どんな様子か
よくなのかがわかりやすいです。生活にそわ
だつたしんぶんはすばいものだと分かりま
した。

今回の新聞記者さんの話のおかげで、戦争や新聞についての事を沢山知る事ができました。まず、新聞の構成についてです。新聞にはトップ、ヤコラムなどとこれまでは知らなかった言葉を知る事ができました。そして、最近の新聞の記事ではトップにウクライナ対ロシアの戦争についての事がよくのっている事に気づきました。

他には、2022年までにどれ位の数の戦争が起きていたのか、と言う事も教えてもらいました。これまでの戦争で沢山の命がなくなっているのにも関わらず、なぜロシアは戦争を仕かけたのか、無意味に関係のない人を巻き込むのはやめてほしい、ロシアによるウクライナへのこの上げきで、日本の小麦やパン、そばなどが値上がりしていて、関係があると気づきました。

まおロシアがウクライナにこだわる理由を
教えます。ガトタトに言うて、
ウクライナはロシアにとっては、いわば元カ
ノ。その元カノにいつまでも自分のところに
モどってきてほしいと未練タラタラ。
一方ウクライナはロシアのD.V.にいや
がさして、E.U.という今カレを見つけた
プロチンとして、元カノを一番よく知って
るのは自分だし、元カノが本当に好きなのは
自分のはずだから、E.U.諸国には俺の元カノ
に手を出すなとおこっでいるわけです。
つまりE.U.はロシアに手を出せない状態、
E.U.が手を出せないほどなので日本も手を出
せないのど悲しいです。が今は静かに見守るし
かないのです。

ほととは、体育館でウクライナとロシアの戦争の話を聞いて、戦争のことも考えるようになった。なりました。

日本にばかりでさうか。自分たちになんかできらうのかも考えるようになった。

ウクライナを改めたいくロシアという国自体もひかひかをうけている。

逆にウクライナは戦争を中断するようい

ろいろ議論されているが、今今も戦争は続いている。ことが示レヒを見てはわかる。

日本は、原爆をうけた国なので、日本も世界のためはかッやくしてはいます。

そんな中でわたしたちができることは何でしょう。例えば、募金。一人10円を募金し

たとして、それを日本中の人ができるとする。何10億というお金になるので、私達一人一

人がするということが大切になると思ひました。

私は学校で記者の人の話を聞きました。話の内容は主にウクライナとロシアの戦争の話の記事内容を説明するといふ感じの物でした。

新聞の構成などを教えてくれたり、新聞とネットの違いや良さを教えてくれたり、大りで色々勉強になりました。

そして今のウクライナとロシアの戦争の事を状況などを教えてもらいました。

ほんとに今起きているとは思えない事でした。なにか自分でできる事といえれば、ウクライナの事を応えんするぐらいしかできないです。

今回は戦争の話や新聞の話を聞いたり勉強になりました。ありがとうございました。戦争にたいして考えました。本当に今すぐにも終戦してほしいです。

私は、ロシアとウクライナの戦争は今すぐ
終わってほしいと思います。この戦争は、二
月二十四日から始まり、現在も続いていま
す。ロシアはこの約二か月ウクライナへの攻
撃を続けています。ロシア軍の攻撃によりウ
クライナの町の建物などがミサイルなどで破
壊され、壊滅しました。そして多くの死者も
出ました。ウクライナ軍の死者は、二千五百
〜三千人ほどで、負傷兵は一人もいないと
言われています。民間人の死者は、三千百五
十三人です。私もテレビでこの戦争のことも
聞きました。民間人が地下室に逃げ込む映像
があり、その中には子どももいました。硬い
コンクリートの上でも寝て、いつ殺されるか
も分からない中、地下室で生活をするのは地
獄だと思います。実際に地下室に子どもの遺
体があったこともありますが、早く終わって
ほしいと思います。このままロシア軍が攻
め続けると、死者が出てきてしまいか
らです。

新聞記者の人がきてくれて新聞の事について話していただきました。

戦争を止めるにはと、いいうのがあって、ぼくはおもったのは、戦争は子どもでは止められないし、ぼくは思いました。

でも近くでピーチンをころすといっていた所もあつたけど、ピーチンをころしたら日本にミサイルをうたれて日本も終わると思ひました。新聞記者の人のおかげでいろいろ字べました。これからも新聞記者の人がいったことをいかしていきたいと思ひます。

感想

伊藤

大良

今日は新聞についての勉強をして、普段な
らやらないことをした。

最初はあまり、内容が入ってこず分からな
か、たけど話を聞いているうちに段々話が分
かっていきました。

そして、配られた紙を見ると、内容がして
モ詳しく書かれていて、普段テレビを見ない
僕でもとしてモ分かりやすく、そして詳しく書

かれています。新聞は良いものだと思いた。
それに加えて、字を讀むということは、
てモ良いことだと思いい、新聞は人々になくて

はならない存在だと思ひました。
またこのような機会があればしたいです。

ぼくは、この学習を聞いて、世界にはたくさんのかないことや、うれしいことがあるんだなと思いました。

たとえばロシアめこは、ウクライナのしみの人たちはたくさんこっけきをし、じつ世界には死してしまっ。た人たちがたくさんいます。このようなかかりし戦争は絶対にあらず。

ないほうかいと思いましたが。

ぼくたちはこのよつなこを見まてるのは、なく自分たちがなにかできるのかということを考えてこゝからのはじめをすすせつけたいかと思いましたが。

今回は水曜日にあつた新聞の授業で知つた
こと、勉強したことを書きます。

まず、新聞がどんな役割があつたか話します。
新聞には又マホヤSNSとちがう部分があり
ます。それは正確さがあることです。とゆう
と、SNSには早さこそあるのですが、フェ
イクニュースというものがあるところがちが
うところでは、他には、書き込みなどかたない
ところ。

他に学んだことは、今取り組んでいること
のことで、戦争の記事の際に上ようとして
いる。

今回学んだことを送かしてゆきたりと
思います。

五月十一日水曜日、僕は、ウクライナの、戦争についてよくわしく、知った。

令和四年二月二十四日、ウクライナとロシアとの戦争が始まった。

そのときよくわしく教えてくれたのは、五

組、河バ先生の知り合いの神戸新聞の方が、

来客されて、体育館で話をしてくれました。

戦争や災害でも新聞はやくたつんだよ！って

いりました。

現在、ウクライナ情勢により、日本へも、

えいきょうが出はじめ、

大変、とりがえしのつかない事になっていて

も、新聞は、なにもかも知らしてくれるとり

う事も、教えてくれました。

ぼくは、ウクライナとロシアが戦争をし
ていて、ロシアは、どうかしてると思いまし
た。

昔の戦争で、いっしょんで町がなくなつた
り、たくさんの方を殺した。戦争をなせま
う一度くりがすのが分りません。

プーチンは、ウクライナの方の気持ちを考え
てほしいです。

あと、この戦争は、ウクライナとロシアが
けの話ではないことに少し不安です。

・お話の中に、小学校の時に習ったロシアと
ウクライナという国名が出ました。
あずかしいお話で疲れました。

ほくは戦争はだめだと思ひます。その理由はこのとおりです。

一つ目は六年生のと王に戦争について調べて戦争でいんなに人が死んだり苦しんだりしていて住むところがなかつたりつれこいかれたりしてそれだと思ひたりと思ひたりです。

二つ目はどの国とも平和な国でいたりからです。どの国とも平和でいたり戦争もおこらないし輸入や輸出などもできると思ひからです。

この二つの理由があるから戦争は反対で仲のよい国といひたりです。

今、僕が、作文書いているときには、ウクライナの人には、一秒一秒大切に生きています。僕が、逆の立場になつたら、怖くて、いてもたつてもいられませんか。だから、僕が出来る最大限をウクライナの人に手助けやちよつとの募金でもウクライナの人を助けたいと思つた。ウクライナの人もなんで戦争が起こつたか、分からない人もいるし、無差別で子供や健物を爆発をしたり、言語や文化、国が違うくても、同じ人、同じ屋根の下で、生きる生き物なんだから、ウクライナ、ロシア、両方が、人のために、いや、皆のために、戦争をやめてほしいです。話を交えますが、世界中の人たちも、進撃の巨人を見てほしいです。愛する人を止めるために殺す。けど、その愛する人は、皆のためにさうげきをしていました。感動で戦争や差別のおろかさを感じたりと出ています。このような戦争について考える時間を作ってください。ありがとうございます。

私はウクラインとロシアが戦争をしてい
る事に関わりはないと思っ
ていました。今回
のこの授業で日本も戦争に巻きこまれる可能
性は低くないと知って早く終わってほし
いなと思われました。より早く戦争を終わら
すためには国の代表同士で話し合えばいい
と思いました。戦争の事に日本がこうし
た方がいいに思いました。あ
あしたの方がすぐ終わると言っ
てもそう簡単には戦争は終わら
ないと思っ
ているのでもう代
表同士で話し
た方がいいと思
いました。

ほくは、本当に戦争を止めたいと思
います。小学校の社会で第2次世界大戦の勉強
をした時に戦争の悲惨さなどがよく分かりま
した。

ほくが、一番戦争のいやな所は政府などが
おこしたのに、一ぱん人が巻き込まれること
です。戦争がいやなのに、戦いはいかないと
いけない人はかちいそうだなと思います。た
から政府などは、そこで話しをして、そこ
で、おさめてほしいです。

まづだんで戦争になったのが分かりませ
ん。

だからグリーンチンは色々といわれてもしかた
がないと思います。たぶん戦争がおおれば政
権はうかいするんじゃないかというニュース
を見ました。それでいいと思いました。

戦争を止めた理由でおこすのは、あ
かしいと思います。だからこれから戦争の
ない世界にしていきたくです。

私は、五月十日に、ウクライナとロシアの戦争の事について勉強しました。私が、あまり見ない新聞紙にいろいろな情報がのびていました。戦争の事についてや、亡くなった方の事など。私は、早く戦争をやめてほしいです。理由は二つあります。一つ目は、戦争をすると死者が増える事です。なにも関係ない人たちも、まきこまれ家族を失なったり友達を失なったり。た人たちがとてもかわいそうで心もいたくなります。二つ目は、戦争のえいきょうで、世界各国で、小麦粉や野菜の値上がりがすごいことです。いろいろな物が値上がりしていくと、みんなが困まります。このように、良い事は一つありません。私は、今、自分でできる事は、ないのかなとたまに思います。今、大変な時期なのにコロナなど絶体にしてほしくないです。せめて、少しでもおさまればいいと思います。

最近、ニュースになつてゐるウクライナとロシアについての戦争についてです。戦争が始まつて約二ヶ月半がたちました。その戦争について五月十一日にこの戦争について授業がありました。この授業で自分が気になつたことを書いていきます。

まず一つ目はなぜ戦争をするのかと考えました。戦争をする理由はあるのかと思ひ渡された新聞をよく見てみると逃げる市民が戦争だといふことです。ここの記事の部分にどんなことが書かれてゐるのかなと見てみるとこんなことが書かれてゐました。お世に泣く母の声、死ぬまで忘れぬといふことが書かれていました。戦争は大事な人を失した人かいろいろな苦ししい思いをしなから気持ち切り替えても母のことを忘れられないか。最後に聞いた母の声は、忘れず心に残しておくと自分では考えました。

ほくは五月十日の六時節目にそのことを
考へる時間がありました。

ロシアはミサイルをうてますなせそ人な
ことをするのかよくわかりたいしウクライナ
の人々が死んでいるのにプーチンたいし
りよは、ミサイルをうて兵隊の人をウク
ライナに行かせています。ウクライナの
首都にミサイルの音が響いたり、黒煙があ
たりしてミサイルをい、ぱい、こいるし
うてだと思えます。ウクライナの都市はもう
ほぼミサイルがうたれています。

早くロシアがミサイルをうたなくな、たら
いいと思えます。

この六時節目を過ぎていく人左ことを知
れよか、たと思えます。

ロシアとウクライナの戦争については、もちろん反対です。

理由は、戦争をすると物の値段が上がるし、戦争をしてなんの得があるのじしゅうか。

領土をうばえるとか？

うばえたところで損害の方が大きいと思います。す。コロナの関係もあるのでは、協力をしてほしいです。

プーチン大統領は何を考えているのでしょうか？

人が悲しむ・死んでいくことに何とも思わぬいのじしゅうか？

ら時間目の授業は、とても勉強になりました。全体的にらがりやすかったです。

